

不妊専門クリニックにおけるCOVID-19ワクチン接種の試み ～妊婦へのアンケート～

小柳良子 小林正知 関和輝 髭友希 森中美友 川本真 羽淵さゆき 濱田亜紀 桑原聖子 園田桃代
医療法人桃花会 園田桃代ARTクリニック

【要約】

目的:アンケートによる妊婦のCOVID-19ワクチン接種に対する調査
対象と方法:2021年8月28日～10月6日にCOVID-19ワクチンを当院にて接種した妊婦139人に2回目接種時にアンケート調査を実施した。
結果:平均年齢31.7歳。平均妊娠週数26.4週
 接種に対する不安は127例(91.4%)に認め、児の影響への不安78例(60.0%)、副反応の不安64例(49.2%)であった。接種を決断した理由は感染妊婦の報道104例(74.8%)、次いで接種時期が妊娠中いつでも可能になった44例(31.7%)であった。どのような情報で安心を得られたかは、かかりつけ医との相談89例(70.1%)が最も多かった。1回目接種後の副反応は93例(67.9%)に認めたが重篤な有害事象はなかった。接種予約が困難だったのは39例(28.5%)であった。
結論:妊婦のワクチン接種に対する不安は大きく、学会や公的機関からの声明や見解は接種の後押しになり、不安軽減にはかかりつけ医の役割が大きい事が分かった

【目的】

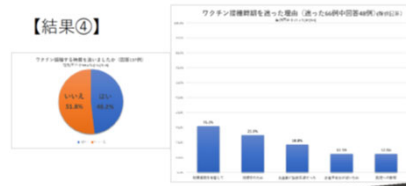
アンケートにより妊婦のCOVID-19ワクチン接種に対する意識を明らかにする

【対象】

自治体妊婦専用窓口を介し当院にて2021年8月28日～10月6日にCOVID-19ワクチンを接種した妊婦139人

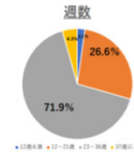


【結果④】

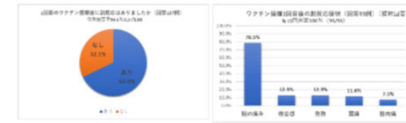


【結果①:患者背景】

平均年齢:31.7歳



【結果⑤】



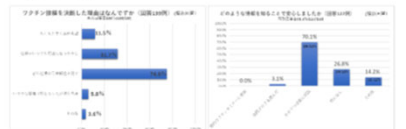
【結果②】



【結果⑥】



【結果③】



【結論】

妊婦のワクチン接種に対する不安は大きく、学会や公的機関からの声明や見解は接種の後押しになり、不安軽減にはかかりつけ医の役割が大きい事が分かった。



第74回日本産科婦人科学会学術講演会
利益相反状態の開示

講演者氏名: 小柳 良子
所属: 園田桃代ARTクリニック

私の今回の演題に関連して、開示すべき利益相反状態はありません。